

桜、菜の花、花桃 桜お花見列車と沿線の花名所



# 旅行読売

行きたい旅が見つかる

4  
2025

特別価格 900円

2024年6月3日第三種郵便物認可番号967号  
5年2月28日発行(毎月1回28日発行)2025年2月28日発行

車窓に春風

# お花見列車

エッセー

能町みね子

新連載

岩合光昭

「ちょっとネコ旅」

新連載

角田光代

「まちの記憶を拾い集めて」

山菜、シラス、ホタルイカ

春を味わう旅



# オーストラリア



(上)農園の周囲はわりと広く、野菜や果物の栽培、牧牛、養蜂などに取り組む(左)ハイカラチャーフのオーナーさんはベニキセリの仕事を手伝い、雨水は灌水用を主に活用している。電力は太陽光発電と蓄電池で供給



(上)アントニオちゃんは三才育苗部のスタッフ(左)農園のオーナーのローレン・ヒューズ。大きな駅に隣り立つ駅舎の裏には、数人の農夫が菜園を耕作している。駅にはだれもいません。不安な顔で頭をもたげたそこの駅員は、1台の車で代わる。

明るい笑顔に運営が一層ではじけた。大人のアントニオさんはオーストラリア人にルーツがあるトイヘルプスの三つ星レストランで聞いた感想を語っている。妻のかミエさんは高校生の時に一室を借りて香港からニュージーランドに移り、2人とも多くの国で暮らし、その後オーストラリアへ。2人とも多くの国で暮らし、オーストラリアで、以前から農業に興味がある夫のアントニオは、アーバン農業を始めた。ところ、コロナ禍となり、あらゆる社会が変わったときに、2人とも多くの国で暮らし、自分たちの手で作れるものを作ることを決意した。そのとき、「安心して口



W W O O F というユニークな旅の仕組みを利用して向かったのは、有機農業の先進国と言われる南半球のオーストラリア。豊かな自然に囲まれたオーストラリアへ。はじめから土地の住人となる「暮らすように旅をこなす」

W W O O F (ダブルウーフ) という旅の仕組みをご存じだろうか。「ダブルウーフアート」と呼ばれる旅人は、ホスト農園を訪問したオーナー農場へと宿泊場所を提供してもらいため、代わりにアームでできる手作業を手伝う。彼らは、農園で位置付けられる。手伝いは自由ではなく、時間や料金を支払う。そのため、環境や食の持続可能性、さらには生き方について多くの知識を得られる。また、相談相手でも暮らしと共にすることや、

今回お話を聞くのは、

その土地固有のカッチャヤやローカルフード、地域コミュニティへの参加など、通常の旅では得られない体験ができるのもウーフアートの魅力。ウーフアートになるのは簡単だ。まず、訪れたい園のウーフのウェブサイトから会員登録を行おう。会員になると、登録サイトの候補やメールのやり取りができるようになる。現地までの往復料金は1年半間滞在する場合、日本国内で1220万円の支払い料金をしている(WWOOF Japan公式ウェブサイト [www.wwoofjapan.com](http://www.wwoofjapan.com))。

今回はワーキングバケーションを通じて取材

を申し込み、「EAT (電子契約可)

」「アート体験をさせてもらひだ。」とアートができないオーストラリアであり、アート体験をさせてもらひだ。アート第2の都市、ノリッジキンから列車に乗車!「待合室での静けさに胸が高鳴る。車窓に映る近似的な風景がかかるから後ろに流れ、やがてひとかわい田園に取つて代わる。

出発から約2時間、やっと小さな駅に降り立つ。数人の農夫が菜園を耕作していくこと。駅にはだれもいません。不安な顔で頭をもたげたそこの駅員は、1台の車で代わる。

ローレン・ヒューズ。農園のオーナーのローレン・ヒューズ。大きな駅に隣り立つ駅舎の裏には、数人の農夫が菜園を耕作している。妻のかミエさんは高校生の時に一室を借りて香港からニュージーランドに移り、2人とも多くの国で暮らし、自分たちの手で作れるものを作ることを決意した。そのとき、「安心して口

う」と、就職を決意したと言ふ。

じつはオーストラリアが創始する。現代では世界のあらゆる情報がネットでつながるが、ウーフアートのウェブサイトでわかるのは、ホスト農家の経営情報や家庭構成、抱てる作業内容が結構地で、求める農園の面積がかなり大きい。また、求める農園の面積がかなり大きい。また、求める農園の面積がかなり大きい。

までは公開されない。はたしてどんな

アートなのだろうか。

車は道を折れ、ゲートの前で停車し

た。奥にはひびやかな丘陵が広がり、

はるか向こうに美しい一軒家がたたず

んでいる。駆け抜け、農園の面積は東京

ドームの3倍もあると言ふ。

文/中野明子 写真/松尾尚

●旅のインフォメーション

交通:羽田空港からシドニーまで直行便で約10~11時間。

料金:日本より輸出料金(トータル料金)

料金:日本より輸出料金(トータル料金)

料金:1ヶ月(オーストラリア\$)= 96.8円

(2022年2月1日現在)

施設:メガバンクの手数料は

※参考: <https://www.australia.com/jp/>

(オーストラリア政府観光局)

写真協力/WWOOF Japan ニュース局、農野記刊、千葉哲也撮影:オガニカタと撮影:ヒコモロ

